

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	行政評価システム運用事務			事業コード	0046
担当課等	所属名	市長公室 行政経営課	担当係名		
	課長名	市長公室 行政経営課	担当者名	小向 克典	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	計画的で効率的な行政運営の推進	コード 2
	基本事業	計画行政の推進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 6目 自治体経営推進事務(013-01)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 13年度～)		
事務事業の概要	盛岡市では、効率的で効果的な市政の実現を目指すとともに、市政の透明性を高め、その内容を市民によりわかりやすく説明する手段として、行政評価システムを導入し全庁的に取り組んでいるが、この事業では、評価手法の開発・調整、スケジュール管理、評価結果の公表作業などを行っている。					
根拠法令等	第二次盛岡市行政構造改革の方針及び実施計画、行政評価実施要項					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成11年9月及び12年3月議会で、行政評価の導入を進めるべきとの意見が出された。 平成12年3月30日に策定した盛岡市行政改革大綱実施計画において、事務事業の効率的な推進のため行政評価制度を導入することとした。 これを受けて、平成13年1月に研究会、同年8月に行政評価システム検討委員会を設置して、行政評価システムの整備に着手した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市議会においては、評価結果に基づく予算重点配分施策の決定について、「客観性を欠く」「施策の選定が適当ではない」等の質問・意見が出されている。 また、国において実施している「事業仕分け」の盛岡市での実施について質問が出された。 平成22年度から実施した外部評価結果においては、「図や表で示してほしい」「字の大きさを変えるなどもっと視覚に訴えて」等の評価の見せ方に対する意見、「事務事業相互の連携と全体の中での位置づけを明確に」等の制度設計に対する意見が出されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか変化したか。今後の見通しはどうか						
少子・高齢化や社会経済情勢の悪化に伴う社会保障費(扶助費、介護給付費、国保・後期高齢医療費等)の増加や税収の落ち込みに対応するため、事務事業の「選択と集中」を行うことは継続して求められているが、多様化・高度化する市民ニーズにきめ細かく対応するため、多様な主体との協働を行うための検討も求められている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市民の数	単位	人
			B. 全職員数	単位	人
			C. 盛岡市総合計画体系の施策数	単位	件
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 事務事業評価事後評価事業数(評価単位数)	単位	件
			B. 行政評価外部評価委員会の開催回数	単位	回
			C. 市民に公表した回数	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 事業改善率(事務事業事後評価で改革改善(現行以外)と示された事業数/全事務事業数) 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
			B. ホームページへのアクセス件数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	件
			C. 【指標の性格: ○ 上げる ● 下げる ○ 維持する】	単位	

<p>⑦結果  (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのよう貢献するか)</p>	<p>計画的に行政事務を進める</p>	<p>⇒</p>	<p>⑧上位成果指標  (上位基本事業の成果指標)</p>	<p>総合計画実施計画の達成率(事業費ベース)(単位:%)</p>
---	---------------------	----------	-----------------------------------	-----------------------------------

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市民の数	人	297,592	297,267	297,267	298,148	298,148	298,148	26年度 -
対象 指標B	全職員数	人	2,402	2,380	2,380	2,332	2,332	2,332	26年度 -
対象 指標C	盛岡市総合計画体系の施策数	件	41	41	41	41	41	41	26年度 -
活動 指標A	事務事業評価事後評価事業数(評価単位数)	件	1,182	843	830	832	807	807	26年度 -
活動 指標B	行政評価外部評価委員会の開催回数	回	11	10	10	11	11	-	26年度 -
活動 指標C	市民に公表した回数	回	3	3	3	3	3	3	26年度 -
成果 指標A	事業改善率(事務事業事後評価で改革改善(現行以外)と示された事業数/全事務事業数)	%	64.3	54.9	65	62.1	65	65	26年度 -
成果 指標B	ホームページへのアクセス件数	件	5,159	6,638	6,500	14,716	6,500	6,500	26年度 -
成果 指標C									年度 -

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,233	1,233	1,359	1,079	1,166	1,150	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,233	1,233	1,359	1,079	1,166	1,150	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,233	1,233	1,359	1,079	1,166	1,150	*****
	延べ業務時間数	時間	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	17,233	17,233	17,359	17,079	17,166	17,150	*****


### 3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	<p>① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？</p>	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 計画的に行政事務を進めるためには、市の行政活動を評価し、予算編成や改革改善に結びつけるマネジメントサイクルの確立・運用が必要であり、この事業は上位の結果に結びついている。
	<p>② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？</p>	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 行政評価システムの運用は、市の行政活動を評価し、改革・改善に結びつける活動であり、市が行うべき事業である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	<p>③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？</p>	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 市が行う全ての行政活動を評価することにより、市政の見直しを行い、今後の改革・改善につなげることから対象を絞ることはできない。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	<p>④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？</p>	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 経営資源の最適配分を行う方針の中において、この事業はその要請に直接的に応えようとするものであり、意図は妥当である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	<p>⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？</p>	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 政策選択の合理性・客観性をさらに向上させる余地がある。 ・各部署における改革改善の取り組みをさらに推進する。 ・評価結果をより分かりやすいものにする。
	<p>⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？</p>	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 「盛岡市の自治体経営の指針及び実施計画」において「行政評価を活用した経営システムの確立」を取組内容として定め、経営資源の最適配分と成果重視の経営を実現するための仕組みのひとつとして位置づけている。
	<p>⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？</p>	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 国、県の政策評価 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 評価対象が異なることから、統合することはできない。
効率性評価	<p>⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費は、まちづくりアンケートに係る業務委託料、公表資料の印刷のための複写機使用料等必要最低限のものであり、これ以上の削減余地はない。
	<p>⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: システムの見直しや外部評価の実施など業務が増加傾向にあり、現段階では削減困難である。
公平性評価	<p>⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	<p>⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価精度の向上について、政策選択の合理性・客観性を向上させるため、施策間の相乗効果、外部要因、世代間負担の把握・分析など新たな手法の導入を検討する。</li> <li>・職員による改革改善事例発表会を引き続き実施するとともに、改革改善の取組みを全庁的に共有する仕組みや、より多くの職員が参加できる仕組みを検討する。</li> <li>・評価シートの改善について、外部評価委員から指摘のある「分かりやすい評価シート」を目指し、様式の改善を検討する。</li> </ul> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価精度の向上について                      「新たな手法をどのように全体の評価に反映させていくか。」「合理性・客観性のある評価とするためにはどのような評価手法・基準が適切か。」等について、他自治体の事例や文献調査、外部評価委員等の外部有識者の知見を求めるとともに幅広い研究を進める。</li> <li>・改革改善の実施について                      いか「堅苦しさ」を消すか、「楽しさ」を出すかが課題と考えており、他自治体の事例を参考にするとともに、行政経営課以外の職員の協力を得て、様々なアイデアを積極的に取り入れていく。</li> <li>・評価シートの改善について                      統一した評価シートだけではなく、各課で作成している資料とのリンクや、図・グラフの活用を検討する。</li> </ul>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>自治体経営推進の重要なマネジメントツールである。新たに、行政評価の客観性と透明性の向上を図るために有識者による行政評価外部評価を実施したが、その他の継続事業と合わせて、行政評価システムの向上に取り組む必要がある。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
														
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>行政評価を活用した経営システムの確立に向けて、評価の精度向上と業務に係る改革改善の推進は、経営資源の最適化に重要であり、2年目となる外部評価の取組みの成果等をシステムに取り込んでいく必要がある。</p>														